

# SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・  
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

**NPO法人 地域福祉サポートちた**

## もくじ

協働で地域の交流の場づくり!!・・・1P  
寺本台サロン・・・1P

愛フェス2009・・・2P  
Ada-Codaまつり・・・2P  
映画いたい放題会・・・2P  
Villa 波 オープン・・・3P  
お休み処「ごえん」にて・・・3P

NPO現場体験研修・・・3P  
民間企業等派遣研修・・・4P  
助成金情報・・・5P  
サポちたインフォメーション・・・6P

## 協働で地域の交流の場づくり!!



8月から始まった愛知県委託事業「協働ロードマップ策定事業」では、「要介護状態にない高齢者のための地域の交流の場づくり」をテーマに、知多半島

島の福祉NPO、地縁型組織、社会福祉協議会、行政がビジョンの共有と協働の姿を話し合う、協議の場を設けている。これまで、3回の協議を終え、現状と課題、めざす交流の場の姿、課題解決の方向性について共有してきた。

独居高齢者の孤独死、子どもたちのいじめ、幼児虐待、不登校、引きこもり、家庭内暴力、さまざまな社会問題を突き詰めていくと、「誰もが孤独な日本人」という異様な社会状況に突き当たる。身近な場所に「ちょっと悩みを打ち明ける」「ほんの少し誰かが手伝う」など人と人がふれあう居場所＝「地域の交流の場」があれば、互いの心のケアが行き届き、いきいきと元気で温かい地域になっていく。

交流の場には、社会福祉協議会が進めている「ふれあいサロン」や行政の施策としての「宅老所」、NPOの運営する「コミュニティカフェ」や介護保険事業を行う福祉NPOが取り組む「ミニデイサービス」、地縁型組織内に生まれた「地域サロン」などがあるほか、高齢者が営む商店に地域の人がたむろする「自然発生的な場」も存在する事が協議の中で指摘された。

歩いていけるエリアの一つづつ、こうした交流の場を拡充していくために、NPO・地縁型組織・社会福祉協議会・行政が連携してできることは？あと2回の協議を経

て、協働ロードマップ原案を作成、2月の恒例知多半島5市5町のNPOと行政の意見交換会で検討され、完成に向かう予定である。  
(岡本)

## うまれたて！寺本台サロン

10月23日(金)、知多市の寺本台集会所で新しいサロンが生まれた。歩いて行ける集会所を会場に、おしゃべり仲間でプログラムを考え、回覧板で地域の参加者を募集し、初日は15名の女性が集った。

この会は、ある独り身の80代の女性と60代の女性とのスーパーでの長い立ち話の中から生まれたもの。一人暮らしの不安と寂しさの声を実際に聞いた60代の女性が、自分自身も友達と喫茶店でおしゃべりしているように「地域の中で誰にも気兼ねなくおしゃべりする場所が欲しいな」という思いが、『大人の学校』をきっかけに活動につながった。初めての会は、予定を1時間もオーバーして話が尽きることがなかった。(五十嵐)



## 10周年記念講演

### 福祉のある優しい 我がまちをつくるために

12月15日(火)

〇10:00～12:00

シンポジウム「足りないサービスをどうつくる？」

〇13:30～15:30

講演「市民が“主”のまちづくりとは？」

講師 上野真城子(関西学院大学院研究科教授)

場所: 知多市民活動センター

参加費: 無料

**みなさまのおかげで、NPO法人地域福祉サポートちたは、今年10周年を迎えます。**

## つながる機運！地縁型組織とNPO ーバスツアーやNPO講座ー

今年度に入って、NPO現場見学バスツアーに、扶桑町、東海市のコミュニティ役員対象の研修が組み込まれるなど、地縁型組織とNPOの接点をもつ機会が増えてきた。参加者からは、自分の地域にも気軽に行き来できる居場所をつくっていききたいとの声が多く出ている。

一宮市委託事業のNPO講座「いちのみや地域のチカラアップ塾」でも、昨年度から市の一括交付金(事業補助金と特別交付金・社協補助金の合算)を受けている西成連区地域づくり協議会の連区長を講師に迎えるなど、地縁型組織とNPOの出会いの場を提供し、地域再編に向けての新たな取り組みを、考えあい、対話できる機会をつくっている。(岡本)

## 愛フェス2009



9月5日・6日に愛地球博記念公園(モリコロパーク)にて「愛フェス2009」が開催された。楽しみながら社会貢献できるファンディングイベントは愛知発・日本初！！

4月に参加を決め、5月には共感的プレゼンテーションの事前研修に参加し、初めてのCM作成にも挑んだ。サポートちたが参加したNPO村には、今までNPOに関心のなかった人がNPOに触れる機会となった。イベントのメインステージでは若い世代を対象に音楽やダンスのコンテストも行われ、2日間の愛フェス来場者数は14,500人、ファンディング投票総数9,178枚に至った。

知多半島から遠く離れた会場で中間支援の活動に共感を得ることのハンディを感じたが、10周年記念を含めたミニ愛フェスから本愛フェスまでのプロセスで若い世代と一緒に活動を振り返ることができた。また、他のNPOとの交流でネットワークがさらに広がったことを実感した。

残暑厳しい2日間だったが、快晴の青空をサポートちたネットワークの連凧が気持ちよく舞い上がり、みんな歓声を上げ感動の瞬間だった。(五十嵐)

## おかげさまで7周年 Ada-codaまつり

10月17日(土)、知多市市民活動センターで7周年記念Ada-codaまつりが行われた。

今年の4月、シェフ交流会の際「あーだこーだって、もう7年目なんだ。」「何かやろうよ！」そんなみんなの声から



【Ada-codaまつり】開催が決定した。センター1階では通常ランチ営業し、2階では手作りパンが得意なシェフ三人によるパン販売をすることとなった。

事前にシェフ家族がチラシを作成・配布したり、新聞によるイベント告知記事の効果により、当日はパン販売が開始されて15分で完売となった。会場では本格的なピアノ演奏も行われ、和やかな雰囲気の中でゆっくりとした時間が流れた。

参加シェフからは、「とにかく楽しかった。他のシェフさんとの交流がよかった。是非またやりたい。」と元気な声が聞かれた。(市野)

## 映画いいたい放題

9月20日に行った映画「降りてゆく生き方」いいたい放題会には、7人が参加、「地域で誰もが安心して暮らしていくために、私たちのできること」のテーマのもと、環境・障がい分野の話題からまちづくりへと対話を展開した。

生物多様性とは、つまるところ「いのちがつながって存在する」ということ。市民が主役のまちづくりというけれど、活動する人それぞれが、自分たちのやり方が正しい、と他を認めず、ともに歩むことを阻んでいる。これでは明るい未来は訪れない。

環境に関しても、映画後の鼎談でも出た「50年持たない」という差し迫った状況の中、自分の価値観を他に押し付けず、ビジョンを共有しながら、100人の一歩を進めることが大事。

また、障がい者の生活は「使いすぎない生活」=エコである。相手に直接交渉するため、支援者とのコミュニケーションが活発になり、互いに「そこにいて欲しい！」という願いが芽生え、共生できる。

「降りてゆく」とは、小さいもの、弱いもののところへ、という事。手を上げることができない、声を出すことができない人につないでいこう！子どもたちにも。

このような穏やかな会話が進み、互いの役割を確認しあった。(岡本)



## Villa 波 オープン!!

愛知県の三河地域で障害者支援に力をいれて活動しているNPO法人ふい〜る工房が、11月1日午前11時に新たな拠点をオープンする。「Villa(びら)うえ〜ぶ」は障がいのある方が、住み慣れたまちで暮らし続けていく「サポート」をしていく!!

喫茶店や農作業を通じ、働くことに対する理解を深め、就労の機会を広げて行く『café神楽・afふあくとりい』を始め、子どもの育ちをサポートする『こどもあそびクラブ』や24時間いつでもサービスを利用できる『レスパイトサービス』を行っていく。

## NPO法人りんりんの見学を終えて



NPO法人りんりんがある岩滑地区はコミュニティ活動が先進的で、テーマ型と地縁型が違和感なく合わさっている。りんりんでは、地域に介護施設

がある安心、地域と一緒に作っていく福祉サービスを考え、活動している。

見学を経て、子どもから高齢者まで、誰でも居心地良く過ごせる環境が、たくさんの工夫から作り出されている事、1人の生活支援から幅広い活動に大きく発展した事にただ驚き、圧倒された。また、代表の村上さんを始め皆さんが「次はこうしたい、こうなるといいな」という希望・パワーに溢れていて、とても輝いていたのが印象的であり、「自分には何が出来るだろう?」「チャレンジしたい事を声に出して、行動してみようかな。」と1歩を踏み出す気持ちにさせてくれる見学であった。(刈谷児童相談センター 田口紗耶香)

10月29日、NPO法人りんりんにて「第2回童話の村秋まつり」の振り返り会が行われ



た。28名の方が参加された振り返りでは、今年の反省や来年度に向けて意見交換が行われた。それぞれの立場から意見が出されたが、みな「より良いお祭りにしたい!!」「地域を盛り上げたい!!」という目的が共有されているようだった。その中でも特に「この秋祭りをまず岩滑のお祭りのように認知されるようにしたい」とのお話が印象的であった。これから来年度に向け、実行委員会が動いていく。(後藤)

## 第12回福祉フェスティバルを終えて



10月24日・25日、知多市勤労文化会館にて福祉フェスティバルが行われた。サポートちたのブースでは、愛フェスで作成したCMを流すなど、活動紹介を行った。

私は、手作りカフェAda-codaが地域の皆さんの憩いの場所になつたらな、という思いがあったので、Ada-codaの明るく、気軽に立ち寄りやすい雰囲気が皆さんに伝わるように心がけて紹介した。皆さんには、「今度行ってみようかしら、ゆっくりおしゃべりできそうね、」と言っただけ、サポちたの一員になった気分でも嬉しく思った。この機会に、ぜひ一度足を運んでいただき、わいわいと活気のある憩いの場になってくれると嬉しい。

バスツアーや体験実習を通して、働く方たちもサービスを受ける方たちも笑いが絶えず、生き活きしていることが印象深かった。身近な地域で過ごせる安心感もあり、お互い楽しく過ごせるよう思いやっているからだと思う。思いやりの気持ちを改めて考える機会となり、有意義な体験をすることができた。

(産業技術研修所 柴田美代子)

## NPO現場体験研修(愛知県)

田原景子さん(知多保健所) 8/27~9/3

研修では、様々なNPO法人の団体やそれに関わる多くの方たちと接する事ができ、多くのことを感じて、学ぶ事ができました。

住民の困っている事や、これまでの制度ではカバーできないことなどに対し、型にはまらない柔軟な活動をしていると感じまし



た。住民の声が活動に直結しており、また、“地域福祉サポートちた”ではそのNPO同士のネットワークづくりをされていて、住民にとって安心できるまちづくりの活動につながっていると思いました。

今後、行政とNPOがお互い、よりよい関係で協働していくことが、県民の方々にとって有益になると感じました。ここで得ることができた柔軟な視点と対応を心がけながら日々の業務に取り組んでいきたいと思えます。とても楽しく有意義な研修となりました。

**川尻一輝さん(道路維持課) 9/2～9/9**子どもに凧を作っている  
川尻さん

今回の研修に参加するまでは、NPOに関する簡単な知識しかなく、実際の現場ではどのようなことをやっているのかはほとんど知らない状態でした。実際に「サポートちた」さんにお世話になって、働いている職員さんの熱意と高い志を感じました。

また、研修の一環として「ゆいの会」さんにもお世話になりましたが、ゆいサロンで楽しそうに食事や会話をする高齢者の方を見て、高齢者の方の居場所作りの重要性を実感しました。6日間という短い期間でしたが、実際にNPOの現場で働いてみることでNPOの存在が身近になったように感じます。

**山崎あゆみさん(豊田加茂福祉) 9/8～9/15**

研修の初日は、事務作業の多さに驚きました。その事務作業は市からの委託事業の一部でしたが、そういう地道な活動を行うこともNPOを存続していくための大切な収入源になるのではないかと思います。



また、この研修を通してNPOで働いている方がいかに地域のことを考え、よりよい地域を作っていこうと活動しているかがわかりました。現場体験やバスツアーに同乗させていただきNPOで働く側も、サービスを利用する側も生き生きしているなと感じました。そういう姿が地域のニーズに応えて、地域を豊かにしていくということなのではないかと思います。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

**奥村友香さん(春日井児童相談センター)9/11～9/18**

6日間、運動クラブふいっとのボランティアやバスツアー、ゆめじろうさんでの現場体験など、盛りだくさんの研修をさせていただきました。研修で出逢った皆さんが、いきいきと活動されている姿は本当に魅力的で、仕事に対する熱意や前向きな姿勢に心を動かされました。人と人のつながりも強く、『豊かさ』とは人に恵まれている事なのだ、という気付きもありました。研修が終わらなければいいのに…と思うほ



ど、楽しくて実りの多い6日間でした。この研修で学んだ事を、日常の業務にも活かしていきたいと思えます。

**藪下延寿さん(刈谷児童相談センター)10/15～10/22**

今回の研修で感じたことは、スタッフや利用者さんがとてもいきいきしておられ、パワーを持った方が多いという事です。私の仕事はある程度ルールが敷かれたところを走ること、つまり「やらされた感」が強いが、スタッフの皆さんは自発的、積極的に市民のニーズに応えようとしていました。行政とNPOの違いを肌で感じる事ができた6日間でした。貴重な経験をさせていただき、今後の私の仕事のあり方を見直すことができました。

**民間企業等派遣研修(大府市)****村田卓也さん(維持管理課) 9/2～9/6**

5日間の研修で一番の思い出が、30連凧上げが成功した事です。成功したときの一体感や連凧のように一つの小さな凧でも連なれば、高く簡単に昇っていく。その姿が知多モデルでもあるイカダ連隊型を表しているように思いました。高い志や熱い理念を持って地域活動され、社会をよりよい方向へに変えていこうとする目的は行政と同じです。お互いに協力し連携して福祉を支えていく事が重要だと思えました。

子どもと一緒に  
凧揚げをしている  
村田さん**山田佳代子さん(保険医療課) 9/2～9/6**

今回は9月5日、6日に行われた愛フェス2009に参加することができ、多くのNPO法人の活動内容や理念を2日という短い期間で、直接学ぶことができました。当初は、NPO法人の事業や活動内容を学ばせていただくことが目的でしたが、結果として、「行政の在りかたとは何か」を改めて考えさせられたインターンシップとなりました。この経験を生かして今後の業務に励んでいきたいと思えます。5日という短い期間でしたが大変お世話になりました。



～ Ada-coda からのお知らせ ～

ワンデイ・シェフ随時募集しています。興味のある方、一度ご連絡ください。担当:市野

# 助成金情報

## トヨタ財団 2009 年度 地域社会プログラム

＜対象＞生きる人々が主体となり、(A)「自立を目指す仕組みづくり」、(B)「共生を目指す仕組みづくり」、(C)「人が育つ仕組みづくり」に取り組み、域内における課題の解決を目指す、プロジェクト・チームによるプロジェクト形式の活動。活動に関わる団体の法人格有無、種類などは問わない(日本国内対象)

＜助成金額＞1件当たり年間300万円程度まで  
助成総額1億2,000万円

＜募集期間＞10月1日(木)～11月9日(月)

＜主催・お問い合わせ＞

財団法人トヨタ財団 地域社会プログラム

〒163-0437 東京都新宿区西新宿2-1-1

新宿三井ビル37階 私書箱236号

TEL:03-3344-1701 FAX:03-3342-6911

## 連合・愛のキャンパ助成

＜対象団体＞市民互助型・草の根型市民団体・グループに限定。非営利活動を主たる目的とする任意団体、NPO法人、グループ、サークルなど。

＜対象活動＞既存ではなく、新たに始める、地域における「ふれあい・助け合い活動」

※平成20年12月1日以降に立ち上がった団体、又は既存の団体であっても従来の活動に加え新たに開始した事業

＜支援金額＞上限15万まで

＜使途条件＞運営費(一般財源)・事務費 いずれも可

＜募集締切＞11月20日(金)必着

＜主催・お問い合わせ＞

(財)さわやか福祉財団(立ち上げ支援プロジェクト)

TEL:03-5470-7751 担当:木原・原島・久保

## 夢サポート

＜対象＞原則として、知多半島(5市5町)内に事務所、活動拠点等がある中小企業、個人企業及び各種団体。地域振興や環境保全に役立つ新たな事業(企業や団体活動)、起業、新規事業(新分野への進出)で、その事業が地域振興に直接的、間接的に寄与できるものが対象

＜助成金額＞

・計画する事業・活動資金(予算)の1/2で、最高200万までとし、年間総額1,000万円以内とする

・ISO141001承認取得は、一企業上限30万までとする

＜募集期間＞10月1日(木)～11月30日(月)

＜主催・お問い合わせ＞

知多信用金庫 企画部(事務局)

〒475-0911 半田市星崎町3-39-18 TEL:0569-26-1015

## 子どもゆめ基金

＜対象団体＞一般財団法人や一般社団法人、特定非営利活動法人、法人格を有しない地域のグループ・サークルなど、青少年教育に関する活動(子どもの体験活動、子どもの読書活動、子ども向け教材開発・普及活動)を行う民間の団体

＜募集締切＞平成21年12月5日(土) 消印有効

＜主催・お問い合わせ＞

(独)国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部助成課  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL:0120-57-9081 FAX:03-3342-6911

E-mail:yume@niye.go.jp

## セブン-イレブンみどりの基金

＜助成形態＞①環境市民活動助成(活動助成、広域連携促進助成、自立事業助成)、②地域美化活動助成(地域清掃活動助成・緑化植花活動助成)

＜助成金額＞助成総額1億1000万円

＜募集期間＞10月1日(木)～1月8日(金) 消印有効

＜主催・お問い合わせ＞

セブン-イレブンみどりの基金

〒102-8455 東京都千代田区二番町8番地8

TEL:03-6238-3872 FAX:03-3261-2513

E-mail:oubo.10b@7midori.org

## 子育て家庭支援団体に対する助成活動

＜対象＞日本国内において、団体が就学前の子どもの保護者等に対する支援活動で、所定の要件をすべて満たす活動(継続活動、新規活動)を行う民間非営利ボランティアグループ・団体、NPO法人等で所定の要件を満たす団体

＜助成金額＞1団体あたり(上限額)25万円

助成金総額(最大)1,400万円

＜募集期間＞9月11日(金)～11月13日(金)

＜主催・お問い合わせ＞

(社)生命保険協会 愛知県事務室

〒460-0004 名古屋市中区新栄町1-1

明治安田生命名古屋ビル14F

TEL:052-971-5233 FAX:052-971-5265

## TechSoup - IT の力を NPO の力に -

NPO法人・公益法人・社会福祉法人を対象に、ソフトウェアの寄贈を行う(※主なソフトウェア提携企業:(株)アドビシステムズ・(株)シマンテック・(株)マイクロソフト)

＜主催・お問い合わせ＞ NPO法人 日本NPOセンター

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1

新大手町ビル 245

TEL:03-3510-0855 FAX:03-3510-0856

E-mail:info@techsoupjapan.org



# サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

## 日本福祉大学 サービスラーニングフォーラム

日本福祉大学では本年度より本格的なサービスラーニングを開催いたしました。今回のフォーラムでは、サービスラーニングプログラムの本場であるアメリカから講師をお招きし、本場の取り組みを知るとともにフォーラムを通し、本プログラムを皆さんと協議したいと考えています。無料でご参加いただけますので、ぜひお越し下さい。

日時:平成21年11月19日(木) 16:35~18:05  
場所:日本福祉大学 美浜キャンパス  
問い合わせ:日本福祉大学サービスラーニングセンター  
TEL:0569-87-2317 FAX:0569-87-2273  
E-mail:nfu-f@ml.n-fukushi.ac.jp

## クロマチックアコーディオンが 奏でるHappyクリスマス

NPO法人SKIPがお送りいたします毎年恒例のクリスマスコンサートも今年で15回目となりました。今回の公演をもってお休みすることとなりました。

コンサートを聞きながら、いつもと一味違った素敵なクリスマスをすごしませんか?皆様のご来場をお待ちいたしております。

日時:平成21年12月25日(金) 14:00~15:15  
場所:ザ・コンサートホール(電気文化会館B2F)  
お問い合わせ:SKIP事務局 TEL:070-5641-4317  
電気文化会館(B1F) TEL:052-2041-1133

## インクカートリッジ要りませんか?

サポートちたで使わなくなったインクカートリッジがいくつかあります。もし、現在お使いのものと同じものがあれば、お譲りいたします。詳しくはご連絡ください。

(EPSON)IC5CL02, IC1BK02W, MJIC7  
(Canon)BCI-3e (NEC)PR-J700-01 担当:後藤

## 成年後見フォーラム

NPO法人知多地域成年後見センターでは、制度の理解と成年後見センターを知って頂くための講演会を開催します。今回は、女流講師神田織音氏をお招きし、事例を基にわかりやすく講談で語っていただきます。どなたでもご参加いただけますので、ぜひお越し下さい。

日時:平成21年11月14日(土) 13:30~15:30  
場所:南知多町総合体育館 サブアリーナ  
問い合わせ:NPO法人知多地域成年後見センター  
TEL0569-21-0811または0562-39-2663

## わくわくみずほ祭り

今回のイベントは、瑞穂区のネットワークグループ“みずほたすけ愛ネット”が企画・運営する在宅サービスセンター祭りです。模擬店・展示・イベント・体験コーナー催し物が盛りだくさんです。どうぞ、来て下さい!!

日時:平成21年11月3日(火)  
場所:瑞穂区社会福祉協議会在宅支援センター  
(名古屋市瑞穂区佐渡町3-18)  
お問い合わせ:NPO法人すけっとファミリー

## 映画「降りてゆく生き方」

日時:12月5日(土)  
会場:愛知県産業労働センターウインクあいち  
第1部 13:00~16:00 映画上映会 (12時開場)  
第2部 17:00~18:30 感動共有ワークショップ  
18:30~20:00 交流会  
参加費:第1部のみ 1,500円  
第1部&第2部 3,500円  
問い合わせ:東海・北陸コミュニティビジネス推進  
協議会(事務局:NPO法人起業支援ネット)  
TEL:052-486-4101 (9:00~17:00)  
E-mail:aile@npo-kigyoo.net

※当日券販売はありません

## 第8期マネジメントセミナー ■成熟した市民社会を目指した新たな展開■

11月20日(金) 13:30~15:30  
「地域に根ざした活動」  
講師:石川あさみ(NPO法人チャレンジド)  
1月15日(金) 13:30~16:00  
「地域たすけあいセンター絆新設」  
講師:山崎紀恵子(NPO法人絆)

## NPO現場見学バスツアー

11月17日(火) 9:30~16:30 定員8人  
12月24日(木) 9:30~16:30 定員26人  
参加費 5,000円(昼食代別途)

特定非営利活動法人  
地域福祉サポートちた



478-0047 知多市緑町12-1  
知多市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631  
Fax 0562 (33) 1743

URL <http://www.cfsc.npo-jp.net>